

心臓血管外科

副院長 : 岡田 正比呂
医長 : 中井 幹三
常勤医師 : 畝 大
レジデント : 2名
診療看護師 : 1名

「概要と特徴」

外科チームとして、外科、乳腺・甲状腺外科、呼吸器外科、移植外科、心臓血管外科が構成されているが、診療は心臓血管外科として独立して行なわれている。診療は、循環器疾患に対する手術療法・周術期診療(術前評価、術後管理)、脈管疾患(大血管末梢血管疾患、静脈疾患、リンパ系疾患など)の診断治療にあたる。循環器科・麻酔科との協力体制のもとでお互いに密なコミュニケーションをとり合いチーム医療を行なっている。手術件数は年間約 250 件であり、下記の表のごとき多岐にわたり、種々の手術を経験することができる。

手術件数

	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年
弁膜症	43	46	34	35	33	19	44
虚血性心疾患	40	34	26	25	13	21	39
先天性	3	3	7	2	2	1	0
その他開心術	15	25	9	6	5	6	16
胸部大動脈	13	30	13	18	15	22	25
腹部大動脈	33	29	39	29	31	33	32
末梢動脈	50	67	14	12	6	27	20
静脈瘤	52	45	18	26	30	21	31
その他	1	2	46	51	86	82	61
手術総数	250	281	206	204	221	232	268

「初期研修の基本的方針」

初期研修では現在のところ、必須は外科研修 1 ヶ月間のみである。更なる研修を希望する場合は自由選択期間に外科、その他の外科系診療科を選択することになる。最初の 1 ヶ月間においても自由選択期間においても希望があれば外科、乳腺・甲状腺外科、呼吸器外科、移植外科、心臓血管外科、小児外科いずれの科の研修も受けることができるが、基本的には初めの 1 ヶ月間は外科選択が望ましい。心臓血管外科履修の初期研修医は主治医、担当医とともに入院患者を受け持ち、術前検査治療、手術、術後治療を研修する。多くの時間は手術参加に費やされる。

「研修予定表」

行 事	曜 日	時 間
病棟回診	毎日	朝・夕
病棟カンファレンス	水	午後
手術	月、水、木、金	
検査	火、水	

「指導体制」

心臓血管外科スタッフは医長2名、常勤医師1名、後期レジデント2名の5名で構成されている。指導医は指導研修を受けた2名の医長を中心に全スタッフから指導を得る。初期研修医は主治医、担当医とともに入院患者を担当し、担当医としての役割を分担する。術前検査治療、手術、術後治療を指導医、上級医とともに実践していき学んでいく。

「経験可能な症例や手技」

研修の多くの時間は手術助手としての参加に費やされる。手術は弁膜症に対する手術、冠動脈バイパス術（標準的人工心肺手術、オフポンプ手術）、胸部大動脈に対する手術、腹部大動脈に対する手術、ステントグラフト手術、末梢血管手術、下肢静脈瘤手術などの手術を経験できる。検査は心臓エコー検査、血管エコー検査、血管造影検査、末梢血管に対するカテーテル治療などであり、これらの検査を指導医と共に経験できる。

「後期研修について」

心臓血管外科の後期研修は、心臓血管外科の専門医を取得するための後期研修プログラムが作成されておりこれに準じた研修となる。心臓血管外科専門医は外科専門医取得が必須となっている。当院では後期研修の初めの1年半で外科、乳腺・甲状腺外科、呼吸器外科、移植外科、小児外科を研修し、その後心臓血管外科の研修を1年半（後期研修3年コース）もしくは3年半（後期研修5年コース）行なう。

心臓血管外科での後期研修終了後の進路は、研修医本人の希望を最優先することとしている。当科関連での岡山大学医学部心臓血管外科、自治医科大学心臓血管外科、国立循環器病センターなどでの更なる研修、海外留学が可能である。

「研修責任者よりひとこと」

当院は外科、乳腺・甲状腺外科、呼吸器外科、移植外科、心臓血管外科、小児外科が各々独立もしているが、連携しながら診療、研修医の指導、育成にあたっている。全ての外科を経験することで幅ひろい外科医として成長することができる。よりスペシャリティーを目指す事もできる。

是非当院で外科研修をチャレンジしてみませんか。

連絡先、問合せは下記までお願いします。

岡山医療センター 心臓血管外科 中井 幹三